



阪神・淡路大震災から30年

いのちを 守るために できること

特集
p.3-7

📷 阪神・淡路大震災で被害を受けた
新幹線の高架橋(食満6丁目)

PICK UP!

P8

表彰しました
市民芸術賞・文化功労賞

P26

テーマは「つながろう」
あまがさきエリア モノづくりパビリオン

電子版(抜粋版)も配信中!



15言語での表示・音声読み上げ
Multilingual(15 languages)



新年のごあいさつ

市長

松本眞



新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、日ごろの市政運営に温かいご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
昨年は元日に能登半島地震が発生し、そこでの暮らしが一変してしまいました。本年1月17日には阪神・淡路大震災から30年を迎えます。市民の皆さまの安全・安心に向け、震災の経験と教訓を忘れることなく、地域や

世代を超えて伝え続けるとともに、次なる大災害への備えを進めてまいります。
これまで、多くの方との対話を重ねる中で、改めて皆さまのエネルギーを感じてまいりましたが、2月に小田南公園の阪神タイガースファーム施設（2軍本拠地）が竣工し、3月には阪神尼崎駅前の中央公園がリニューアルオープンします。これらを契機に、尼崎をさらに活気付けられるよ

うな取り組みを、市民の皆さま、事業者の皆さまと共に、積極的に展開できることを期待しております。尼崎が「住みたいまち」「住み続けたいまち」として選ばれよう、今後もさまざまな取り組みを進めてまいりますので、引き続き市政運営に温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。
皆さまにとりまして、新年が素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます。

市議会議員

北村保子



新年、明けましておめでとうございます。
市民の皆さまには、平素から市議会に對しまして、格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年は、さまざまな社会課題に直面する一年でありましたが、本市におきましては、20年の長きにわたった財政改革がようやく実を結び、収支均衡予算の編成が可能になるなど、これまでの取り組みは着実に成果を

上げてまいりました。
これも皆さまのご理解とご協力があったからこそ改めて感謝申し上げます次第です。
そして、今年は、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。
これを機に、先の震災で得た教訓を忘れることなく、南海トラフ巨大地震など次なる方が一の大災害に備え、市民の皆さまと共に、より一層の防災力・防災意識の向上に取り組ん

でいきたいと考えております。
市議会といたしましても、市民の皆さまが地域に愛着を持って、住みたい、住み続けたいと思えるまちとなりますよう、誠心誠意、努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。
結びに、この一年が皆さまにとって、穏やかで実り多いものとなりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



阪神・淡路大震災から30年

いのちを守るために

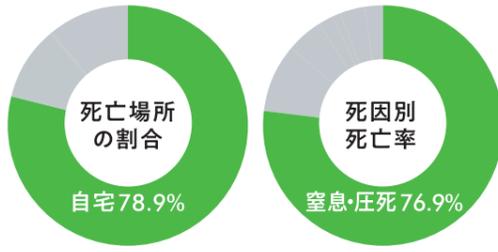
でぎる（ん）と

特集

阪神・淡路大震災をはじめとする近年の災害の経験から、大規模災害では救助や支援が追いつかなくなるほどの被害が発生することが想定されています。助けが到着するまでの間を乗り切るために、今できる備えをしておきましょう。

ID 10002222
 図災害対策課 ☎6489・6165 図6489・6166

阪神・淡路大震災のデータ



出典：厚生省大臣官房統計情報部
「人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況」(1995)

家屋の倒壊・家具の転倒への対策が重要

救助や支援の状況

阪神・淡路大震災での 家族や地域住民 などによる救出活動	大災害が 発生してから 支援物資の到着まで
全体の 約8割	約3日

出典：内閣府

救助要請の殺到や交通インフラの寸断などにより、救助や支援が遅れるケースも。

公助が到着するまでの数日を含め、助け合いと事前の準備が大切です。

公助とは

消防や警察、自衛隊、地方自治体などの公的機関による救助や支援のこと



阪神・淡路大震災で被害を受けた
まちの様子(戸ノ内町4丁目)

地震対策チェックリスト

家具の下敷きにならないよう
配置換えや固定を



納戸やクローゼットを活用し、家具を減らすのが最も効果的ですが、生活空間に置く場合、寝る場所や座る場所などの近くは避けてください。また、L型金具などで固定することも有効です。

建物の耐震化も重要
ID 1002266

家具などの転倒防止だけでなく建物が安全かどうか把握することも大切です。耐震診断や改修についてぜひ専門家に相談しましょう。

図 建築指導課
☎6489-6650
FAX 6489-6597



避難経路は複数チェック!
集合場所や
連絡手段を確認



交通インフラが寸断されるなどの被害に備えて、避難経路は2~3コース想定しておきましょう。また、学校や会社など自宅以外で被災することも想定し、家族との集合場所や連絡手段を決めておきましょう。

平時から避難行動を
確認しておきましょう
ID 1002252

津波から避難するためには「R神戸線より北側へ避難する「水平避難」と津波等一時避難場所などの3階以上の頑丈な建物に避難する「垂直避難」が大切です。頑丈な3階以上の建物であれば、自宅にとどまることや知人の家に身を寄せることも避難行動のうちの一つです。平時から避難行動を確認しておきましょう。

水や食料の備蓄は
「ローリングストック」で
日常に取り入れて



水や食料の備蓄は、日常生活で使う保存性の高いものを多めに買い置きし、消費した分を買い足す「ローリングストック」が有効です。

ライフラインの寸断に備える

電気・水道・ガスなどのライフラインが使えなくなることを想定し、最低3日分の水と食料を備蓄しましょう。水は1人1日3ℓが目安です。給水車から水をくむための容器やカセットコンロ、ガスボンベなども必要です。

電気・水道・ガスが9割程度復旧するまでの日数

	東日本大震災	阪神・淡路大震災
電気	6日	2日
水道	24日	37日
ガス	34日	61日

出典：日本気象協会

すぐに避難できるように
非常持出袋も
しっかり準備

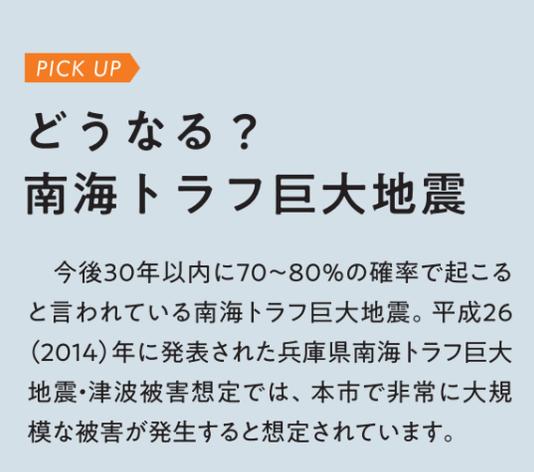
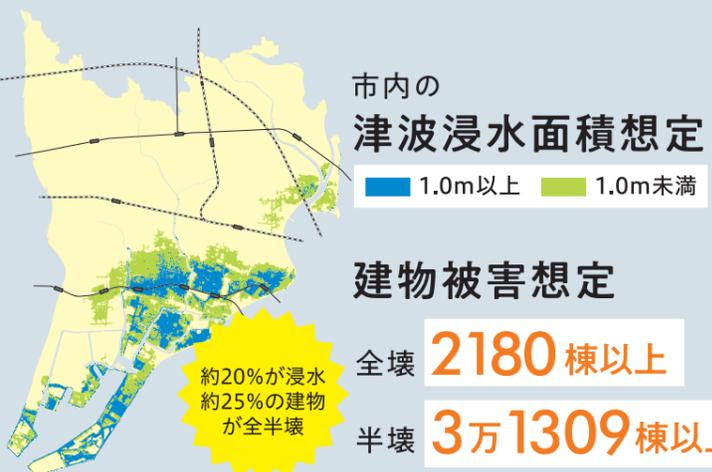


命に関わる危機が迫ったときは、荷物をまとめる時間はありません。非常持出袋を準備し、家の中の目に付く所に置いておきましょう。衛生用品や薬など必要なものは人それぞれ。事前に中身を考えておきましょう。

非常持出袋の中身って?

- 水、食料など
- 携帯ラジオ
- 現金など貴重品類
- 持病の薬など医薬品
- 携帯トイレ
- など

「家庭での備え
チェックシート」を
活用しましょう
ID 1028784





阪神・淡路大震災 30年事業

「1.17は忘れない」地域防災訓練 ID 1036563

1月17日(金)午後1時30分～3時45分、武庫東小学校をメイン会場として実施します。地区会場となる竹谷・杭瀬・わかば西・名和・園和小学校での実施時間は会場により異なります。そのほかの市立小・中学校と特別支援学校では、1月中に行います。

この訓練は、阪神・淡路大震災の経験と教訓を次世代に継承し次の大災害への備えや対策の充実を図るため、「ひょうご安全の日」である1月17日を中心に実施するものです。☎災害対策課 ☎6489-6165 FAX 6489-6166。

◆訓練内容 メイン・地区会場では、ペット避難に関すること(避難所での飼育場所など)や女性や障害者、外国人などさまざまな視点に立った避難所運営訓練などを行います(訓練内容は学校により異なります)。なお、訓練の一環として、同訓練中はホームページを災害版ホームページ※に切り替えます。この機会にぜひご確認ください。

※大規模災害が発生すると、ホームページにアクセスが集中し、閲覧できなくなる恐れがあります。通常時のホームページから災害版に切り替えることで、安定して必要な情報を閲覧できるようにしています。



防災に関する事業

◆「災害から身を守る！ 気象台が発表する防災気象情報の活用法」 ID 1039953 1月30日(木)午後2時～3時30分、小田南生涯学習プラザで、講演を。参加者にはあま咲きコイン100ポイントを付与します。先70人 申1月6日から電話かファクス・Eメール(氏名、電話番号、講座名を書いて)で消費生活センター ☎6489-6690 FAX 6489-6686。

常設ミニ展示「阪神・淡路大震災と尼崎」 ID 1039989

1月4日～2月26日午前9時～午後8時(日曜・祝日は5時15分まで)、中央図書館で。☎同館 ☎6481-5244 FAX 6481-2142 月曜日(祝日の場合は火曜日)と最終木曜日。

歴史博物館企画展 尼崎・災害の歴史 ID 1039909

1月11日～3月30日午前9時～午後5時(最終入館は4時30分)、歴史博物館で。詳細は26ページ参照。

講演会 災害からの復興・生活再建を考える

ID 1040091

1月17日(金)午後1時30分～3時30分、小田南生涯学習プラザで。詳細は21ページ参照。

震災を考えるギター演奏会

1月18日(土)午後2時～4時、立花南生涯学習プラザで、阪神・淡路大震災の講話とギター演奏を。☎不要☎地域総合センター水堂 ☎6436-8681 FAX 6436-8885。

防災体験セミナー「深海から聞こえてくる地球へのメッセージ」 ID 1039847

1月25日(土)午後1時～3時、中小企業センターで、講演と段ボールベッドの組み立てなどの体験ができるイベントを。参加児童には、有人潜水調査船・しんかい6500ストラップか尼崎市給水車ブルバックカーのプレゼントも。☎市内在住の小学4～6年生(保護者同伴で) 先150人 申1月6日～15日に電話か専用フォームで災害対策課。

ペット防災を学ぼう

2月15日(土)、県動物愛護センター(西昆陽4丁目)で、①講演会②愛犬しつけ方教室③子ども向けイベント——を。時間はイベントにより異なります。☎②犬と飼い主③小学生以下の人と保護者 先①10人②14組③30組 申1月6日から電話か同センターのホームページの専用フォームで①県生活衛生課 ☎078-362-3259 FAX 078-362-3970 ②③県動物愛護センター ☎6432-4599 FAX 6434-2399。

◆「あの日から30年、またいつか起きる」あなたのための防災講座 ID 1039919 2月9日(日)午前10時～11時30分、立花南生涯学習プラザで、講演とマイ避難カードを作るワークショップを。☎立花地区在住の人 先50人 申1月9日～2月7日に直接か電話、ファクス・Eメール(住所、氏名、電話番号を書いて)、専用フォームで立花地域課 ☎6427-7770 FAX 6427-7773。



学生と協力し防災マップを作りました



武庫第11自主防災会 防災士 中山正裕さん

私が所属する武庫第11自主防災会では、月1回の定例会のほか、自主防災訓練を実施し、避難所運営や避難誘導、炊き出しなどを行っています。また、地域の学生と協力して開催する防災イベントなどを通じて、防災意識を高めるだけでなく、身近な人と助け合う「共助」の大切さも伝えていきます。

一人でも多くの命を救うためには、自力で避難できる人だけではなく、高齢者や妊産婦などの要配慮者の誘導や搬送も速やかに行うことが重要です。そのために大切なのが「普段からの近所付き合い」です。近所の人と顔見知りになることで、例えば「この人は一人暮らしだから誰かが様子を覗いて行った方がいい」とか「この人は車いすがないと避難できない」といったことが分かり、助け合っただけで済むことがありません。人々のつながりが命を救うことにもつながります。難しく考えなくても大丈夫です。まずはあいさつから始めてみましょう。

人のつながりが、防災にもつながる

地域で取り組む 災害対策 Interview

まちの防災を支える人に聞きました



災害対策は、日々の活動から

私たち尼崎市消防団は、皆さんの安全・安心を守るために放水訓練や機械器具点検、消火栓の確認などを実施しています。



約800人で活動しています。消防団員募集中!



尼崎市消防団副団長 沖田和夫さん

阪神・淡路大震災では地震発生直後に消防団本部を設置し、当日中に消防団の全車両・団員が出動しました。火災現場の延焼を最小限に食い止めたほか、救助活動や被害状況の把握、交通整理などを行い、被害を受けたまちの最前線で奮闘しました。

同震災を実際に経験した団員は少なくなっていますが、こうした経験を踏まえ、大災害が発生した際に、何をしなくてはいけないか、周りの人との助け合いができるよう、防災訓練や知識を習得できる機会などをぜひ積極的に活用して大災害に備えてください。

みてみよう

防災動画

クイズ形式で防災について学べる動画を公開中。

Q 人が津波による浸水で動くことができなくなるのは何cm以上? ※津波は浸水の深さにかかわらず、危険です。



答えはこちらから!

やってみよう

シェイクアウト ShakeOut

ShakeOutとは、地震から身を守る3つの安全確保行動です。とっさの行動をあらかじめ学んでおくことが、命を守ることにつながります。



【画像提供】効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議